

Title	『全国労働組合』の崩壊と一八七三年の恐慌
Sub Title	
Author	園, 乾治
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1929
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.23, No.10 (1929. 10) ,p.1427(45)- 1459(79)
JaLC DOI	10.14991/001.19291001-0045
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19291001-0045">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19291001-0045</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

れてゐるためにその犠牲者は蓋し少からざるものがあつたからであらう。産業革命と交通機關の發達を明白にするためには次ぎに運河の發達を見なければならぬ。又 Turnpike 制度が次第に衰頽して來たのは鐵道の發達して來た以後である。何故に Turnpike が衰頽したかについても論ずる必要があるが、こゝでは産業革命の發展と道路の改良とを主とするが故に、一八三〇年以降の問題は暫くこれを他の機會に保留して置く。

(昭和四年九月十五日稿)

## 『全國勞働組合』の崩壊と 一八七三年の恐慌

園 乾 治

### 目次

- 一 一八六九年の勞働會議とマサチューセッツ州の政治運動
  - 二 一八七〇年及び其後の勞働會議
  - 三 一八六五年より一八七三年の恐慌に至る迄の産業狀態概観
- 以上

一 一八六九年の勞働會議とマサチューセッツ州の政治運動  
 勞働會議は一八六六年ボルティモアに於ける會合を其第一回とするのであるが、爾來毎年會合し、一八六九年八月十六日フィラデルフィアに於て其第四回の會合を催した。(勞働會議の成立事情并に其第一回より第三回に至る會合に就て

は、本誌第二十三卷第七號に發表したる拙稿『全國労働組合』と政治經濟問題に詳細に論述してある。此第四回の會合に對する出席代表者は百四十二名に達し、其中には三名の國際同業労働組合の代表者、二名の州同業労働組合の代表者、三名の州労働組合聯合の代表者、六名の都市諸業協議會の代表者、五十三名の地方同業労働組合の代表者、十名の労働組合(Labour union)——全國労働組合(National Labor Union)が直接に許可せるもの——の代表者等が見出される。而して其特色とする點は初めて黒人の代表者が派遣せられたことであり、著名の人物としてはジュースアッブ、トラップ、ツレベリック、カメロン、キャンベル等が出席した。此會議の劈頭發生したる一事件は『労働婦人保護協會』(Workingwomen's Protective Association)の會長スーザン・ビー・アントニー(Susan B. Anthony)の出席を拒否する動議が提出せられたことである。それは右の協會を労働者の眞實の團體と看做すことが出来ないと言ふ理由に基くのであつた。ツレベリック、カメロン其他の人は出席を許すことに賛成したが、長時間討議の末、遂に六十三票對二十八票を以て出席拒絶の動議が成立した。

第四回の會合に於て議長に擧げられたる裁縫工全國組合の會長ルッカー(President Lucker)は騷擾法の復活、八時間労働法の進展、協同事業の失敗等に就て報告をなし、一八七二年の選舉に備ふる爲に全國労働政黨を組織することを主張し、バールに於ける國際會議に代表者を派遣すべきことを勧告し、主として西部及び南部諸州に労働組合(Labour union)が二十六個組織せられたことを報告した。而して綱領も新にせられたのであるが、それは從來の主義を變更したものであるもなければ修正したものであるも無く、同一のものを書き改めたに過ぎなかつた。之はシルピスの長逝によつて、最早彼の組織的建設的精神に指導せらるること能はず、爲に其後の會議は新味を加ふることが殆んど無くなつたことを示してゐる。(シルピスの長逝に就ては前掲拙稿を參照して戴き度S)(Commons and Associates, History of Labour in the United States, Vol. II, pp. 133-134; Norman J. Ware, The Labor Movement in the United States, p. 10.)

會議の席上に於ては協同事業、同業労働組合運動、政治問題は殆んど多くの注意を惹かず、僅に八時間労働問題が幾分の考慮を加へられたのであつて、州労働組合

(State Labour Union)を單位とする大會の組織に關する計畫も委員會に附託せられたが、大會に於ては重要視せられなかつた。其間に於て幾分進捗を見たのは黒人の代表者を各州から次回の會議に出席せしむる問題のみであつた。之は四名の黒人代表者が此第四回の會議に出席し、最早黒人を無視することが出来なくなつたことを明瞭に指示してゐる。

併し乍ら會議の斯の如き努力にも拘らず、黒人は白人より分立したる労働組合を組織する方法を選択した。而して斯くなりたる理由は種々あるが、其主要なるものは、黒人労働者并に徒弟が何れかの産業部門又は工場に於て労働する権利を……「同業労働組合」なるものによつて排除することにあつた。一八六〇年代に於ても黒人労働者と白人労働者との間の不和衝突は決して稀ではなかつた。ワシントン(コロンビア區)に於ける煉瓦工組合は其組合員が黒人と共に労働することを禁止し、此禁止に背反したる白人労働者四名を組合から除名したことがあり、同じくワシントン(コロンビア區)の地方印刷工組合は會則に於て黒人に對して差別を設けずと言ふことを規定してゐたのであるが、黒人印刷工の加入を拒絶した

ことがある。第二の理由は黒人と白人労働者の利害關係の相異であつた。綠裏紙幣と國庫債券に對する課税は黒人労働者の多く痛痒を感じざるところであつたが、教育に對しては大に努力を竭し、又南部諸州に於ける自由住居政策が其主要なる立法上の要求であつた。之に對して『全國労働組合』(National Labour Union)は共和黨の誹議に終始し、獨立の政治活動を推奨し、黒人の共和黨に賛成する感情に反することが多かつた。

黒人の全國に亘る團體組織の最初の計畫は一八六九年一月ワシントンに開催せられたる全國黒人大會であつて、大凡百三十名の代表者が集まつた。其中には多數の政治家并に宣教師が參加したが、大會は純然たる政治上の性質を有し、共和黨に全幅の信頼を措くことを宣明し、又同等の政治上の權力、教育并に土地解放が討議せられた。

最初の黒人の全州労働大會は一八六九年七月ボルティモアに於て開催せられた。而して委員を任命して報告書を作成せしめたが、右の報告書には白人が黒人と共に労働することを拒絶したる多數の實例を舉示し、全國に亘る完全なる黒

人労働團體の組織を勸告してゐる。大會は『全國労働組合』のフィラデルフィア大會に對して五名の代表を任命し、一八六九年十二月六日ワシントンに開催すべき全國黑人労働會議の召集狀を發した。此會議に出席したる代表者は全国各地より參集せる百五十六名であり、リチャード・ツレベリックも『全國労働組合』を代表して出席した。召集狀に記述せられたる處によると此會議の目的は、黑人なるが故に徒弟法に設けられたる差別に反對する全國諸州并に屬領に於ける白人同僚労働者と協同動作をなす爲に諸州の黑人労働者を團結せしめ、分立せる團體の必要が消滅したと思はる迄協同動作を繼續すること、并に苦力の契約労働を排除する爲に聯邦議會に請願するにあつた。

此大會はボルティモア・填絮工アイザック・マイヤース (Isaac Myers) を會長とする黑人全國労働組合を創設することとなつたが、それは多くの點に於て白人の『全國労働組合』と相異した。乃ち彼等の綱領は綠裏紙幣問題、國庫債券に對する課税、戰爭の爲にする富豪に對する課税、独自の政治上の行動、南部諸州民に對する市民權の恢復等の如き共和黨に背反するものを總て周到に削除し、又労働組合の法

人設定、労働局、囚人労働、男女労働者の連帶の如き、黒人が其重要性を認めざる數種の施設を除外した。彼等は八時間労働及び協同組合に就ては單に之を羅列するのみであるが、特に作業に對する黒白人同等の權利の要求を力説した。而して兩種の全國労働組合が全然一致せる二つの問題は、ストライキの不用と支那人の契約労働を排斥することであつた。

却説、一八六九年フィラデルフィアに於ける大會の後、『全國労働組合』は從來よりも發展の歩調が幾分鈍くなつた。會長ツレベリックは卓抜なる論客で且つ組織者であつたが、シルビスの特色たる洞察力と實行力とを併せ有することが無かつた。ツレベリックは年内百六十九日を費してニュー・イングランド、中部諸州、南部諸州、西部諸州を巡遊し、其結果百二十七の地方團體に對して特許狀を發行するに至つたが、組合の財政状態には何等の改善が齎されなかつた。(Commons, pp. 134-138; Commons and Associates, Documentary History of American Industrial Society, IX, p. 250; Binba, History of the American Working Class, pp. 147-149)

労働者の獨立せる政治活動の中心は一八六九年に至つて西部より東部に移動

した。マサチューセッツ州に於ては此運動はアイラスチュワード及び其同志によつて強い賃銀意識を保有し、又労働運動は知識階級の改革運動と直接の交渉を有した。而して是等の知識階級は大半ブルードンの相互銀行計畫に賛成し、又スチュワードの同志よりも綠裏紙幣主義と密接に協調して居た。而して一八六九年七月開催せられたる『ニューイングランド労働改革聯盟』(New England Labour Reform League)の大會に出席したる人々の中には兩種の労働改革者を含むで居り、知識階級の人々としてはウエンデル・フィリップス(Wendell Phillips) ショサイア・ワレン(Josiah Warren) エズラ・ヒー・ハイウッド(Ezra A. Haywood) ホー・ハンチ・ローシャーム(E. H. Rogers) ウィリアム・ヘッチャー・チャニング(William H. Channing) アルバート・プリズマン(Albert Brisbane) ショーン・オルビス(John Orvis) 等があり、労働者の代表としてはサムエル・ビー・カンニングス、『セント・クリスピン騎士團』(Knights of St. Crispin)の會長ウィリアム・ジョー・マクラフリン(William J. McLaughlin) マイラ・メチアノーワード(Ira Steward) ショー・ジョー・マクネイル(George E. McNeil) ショー・ジェニー・コリンズ(Jennie Collins) 等があつた。

而してハイウッドは開會の辭に於て財政問題の緊切なることを説き、多數の決議中には、各人が其信用を使用するのは自然の權利であること、併し乍ら政府が貨幣の本質并に量額を支配する其機能によつて、特に之を金銀に制限する其機能によつて、特權を有する少數者が利子及び物價を高率にし賃銀を低廉に爲し得ることを宣言した。而して其改善策は國法銀行(national banks)の紙幣を回収し、租税に收納せられ、利子を發生せざる勤務を表す國庫證券を以て之に代へ、又聯邦内に於ける無料銀行業を設け、財貨を基礎とする貨幣を原價を以て提供するのである。而して決議は此『ニュー・イングランド労働改革聯盟』と『全國労働組合』との提携連帶を宣言し、茲に掲ぐる原則と政策とは空理にあらずして選舉に於て試練すべき活問題であることを宣言してゐる。

斯の如きが大部分の知識階級の立場であつた。彼等の目論見はブルードンの無料銀行業計畫を綠裏紙幣論者の政府紙幣思想と政治活動とを以て補足したものであつた。而して前述の聯盟は通貨の改革を他の何れの改革よりも先頭に置いたが、反之、スチュワード及びマクネイルは、労働改革運動の全勢力を先づ労働

時間の減少と言ふ唯一の單純なる思想に傾注すべきこと而して大衆は労働改革に關する他の總ての問題を自ら討議する爲にもつと時間を有すべきことを宣言する決議を之に代へんとする動議を提出した。斯の如くして賃銀意識を有せざる通貨改革と賃銀意識を有する八時間労働改革とが同列に配置せられた。併し乍ら之は劃然と知識階級が一方に味方し労働階級が他の一方に味方する區別を劃してはゐない。八時間労働の主唱はウェンデル・フィリップスの支持を得、通貨改革論はマクラフリン及びカンミングスの如き當時の最大なる労働組合『セント・クリスピン』の代表者によつて支持せられたが、之に對しては綿業及び羊毛業労働者及び労働婦人團體の代表者は一致して反對の態度を持した。

スチュワード及びマクネイルは『ニュー・イングランド改革聯盟』をして八時間労働改革に左袒せしむることが出来なかつたので、一八六九年八月『ボストン八時間労働聯盟』(Boston Eight-Hour League)を組織した。之は『マサチューセツツ八時間労働大聯盟』(Massachusetts Grand Eight-Hour League)の後身である。併し乍ら『セント・クリスピン』は八時間労働問題に左袒する傾向を有せず、前述の『全國労働組合』の

フィラデルフィアに於ける大會の決議に一致する廣汎なる労働者の要求提案に州労働政黨の基礎を措く爲に、九月九日州労働改革大會を召集した。此大會には『合同十時間労働協會』(Amalgamated Ten-Hour Association)の代表者少數と、ブルードン主義無政府主義者にして數種の小冊子と一種の著書とを有するウィリアム・ビー・グリーン(Colonel William B. Greene)の如き若干の知識階級の者が出席したが、『セント・クリスピン』が斷然優勢であつて其緊急の要求を特に取扱ひ、合法の目的の爲にする労働組合の權利を、立法上の承認と奨励を以て許容せざる公職の候補者に對しては、之を支持せざることを宣言した。『セント・クリスピン』は既に一八六九年の州立法議會に結社法案を提出したが、一八七〇年再び公衆發言權に關聯して之を提出して、僱主側の強硬なる反對に遭つて敗れたのであつた。

マサチューセツツ州内に於ける労働政黨の即時結成に關しては多くの反對に打克たねばならなかつた。加之、斯の如き政黨の成功は疑問を以て見られて居たのであるが、労働政黨の名稱を獨立政黨と改變して出現し、九月二十八日指名大會を開催し、國債を法貨を以て支拂ふこと及び合衆國公債の免稅に反對することを

政綱に添加した。之は『全國労働組合』の主義に賛同することを示してゐる。併し乍ら候補者に指名せられたる者には餘り有名な人物は居なかつた。然るに選挙の結果は意外の成功を収めて、敵も味方も一驚を喫したのであつた。新聞の支持を有せず政治上の訓練をも有せざる労働者が、成立後僅々三週間に過ぎざる政黨を以て、下院に二十一名、上院に一名の當選者を得たのであつた。而して斯の如き成功に就て、黨の總裁カンミンクスは之を主として財政問題に關する政綱によると言ひ、中央委員會の一委員は『全國労働組合』のフィラデルフィア大會によつて與へられた衝動が結黨によつて倍加した爲であると言つてゐる。

マサチューセツ州に於ける労働階級の政治運動が財政改革問題に左祖することは、『マサチューセツ労働組合』(Massachusetts Labour Union)の會長にウィリアム・ビー・グリーン (William B. Greene) を推舉したることによつて一層強められ、マクラフリンを始め『セント・クリスピン』の有力者が執行委員會に参加して居た。而して前述の如き選挙の成績は『セント・クリスピン』の支持に因るとも言ひ得るであらう。併し乍ら獨立せる労働政黨の成功は短日月に終つた。十月ボストンに於て

行はれたる市會議員の選挙に對して『労働改革黨』は市の使用人に對する八時間労働、ガス工場の市有、市債の迅速なる償還を政綱として一名の候補者を立てたが、完全に撃退せられて終つた。

一八七〇年九月ウースターに於て行はれたる『労働改革黨』の第二回大會は前年度に於けると同一の政綱を採擇し官公業の使用人に對する八時間労働を要求するに至つた。蓋し之は結局、賃銀の良好なること及び訓練教養ある労働を意味することを立證するに必要な第一要件を達成することであるによる。斯の如くステューワートの學説を承認するに至つたのはジョージ・イー・マクネイルが決議委員會に加はつて努力したる結果である。此大會に於てウエズデル・フィリップスが州知事の候補者に擧げられたが、彼の偉大なる名聲を以てしても運動を恢復することは不可能であつた。併し乍ら一八七〇年代の初期に於ける事業界の殷盛は、労働階級の政治運動の前途に一抹の光明を投げ與へ、一八七一年九月サウス・ブラミンガムに於ける『労働改革黨』の第三回大會は『ニュー・イングラント労働改革聯盟』の綱領と内容共に近似せる綱領を抽象的に起草し、州知事の選挙に打



出でたのであるが、フィリップスの努力も其效が無かつた。

而して一八七二年に至つてマサチューセッツ州の労働政治運動は、フィリップスの主唱する『労働組合』とスチュワード及びマクネイルの指導する『八時間労働聯盟』との二個の小黨分立となつた。兩者に共通の問題は八時間労働であつたが、人的差別が繰返され、個別に大會を開催せる七月に至つて不和は其頂點に達した。斯の如きマサチューセッツ州に於ける政治運動の失敗は、一八七〇年に於ける労働階級の政治に對する興味が一般に失墜せられたる片影たるに過ぎぬ。併し乍ら此運動が他の既成政黨をして労働者の投票の勢力に覺醒せしめたることは明白であつて、マサチューセッツは労働統計局を設置し又十時間労働法を制定したる最初の州たる不朽の名聲を贏得たのである。(Commons, History of Labour, pp. 138-144; Carlton, Organized Labour, pp. 122; 179-180)

## 二 一八七〇年及び其後の労働會議

『全國労働組合』は其第五回大會を一八七〇年八月十五日シンシナティに於て開催したが、出席せる代表者は百九十二名より九十六名に代表せられたる團體は

八十三より七十六に減少した。併し是等の數字は些か説明を要するのであつて、州及び地方の労働組合 (Labour unions) は何れも其數を増加し、純然たる労働組合 (trade union) に就て見れば全國組合は依然同數を保持し、都市組合たる諸業労働協議會 (trades' assembly) の如きは却つて其數を増加し、唯地方組合 (local trade union) のみが可成の減少を來したのみであつた。此會議にはボルティモアに本部を有する全國黑人協會のアイザック・アイ・マイヤース (Isaac I. Myers) も出席したが、會議の劈頭黑人の参加に關する問題が論議せられ、マイヤースの外二三の黒人は出席を承認せられたがジェー・エム・ラングストン (J. M. Langston) と稱するオハイオ州の有名なる黒人法律家は、前回の黒人全國大會に於て黒人と白人とを疎隔せしめんとする言行ありしことを非として、除外せられた。

嘗て開催せられたるホルティモアの大會に於ては獨立の政治行動の必要が宣明せられ、シカゴの大會に於ては労働政綱の原則が樹立せられ、今回のシンシナティの大會に於ては労働政黨の創立の手續が執られたのである。カンニングスは『全國労働組合』は産業上の團體として存續し、各州一名の委員を擧げて全國労働政黨

の結黨を完成する爲に政治大會を召集する動議を提起した。此動議に對しては二つの方面から反對があつた。一つは獨立せる労働政黨が從來何等の收穫を齎さざりしことを擧げる一黑人代表者及び共和政黨によりて總ての改革を達成し得べしと主張する他の黑人代表者の反對であり、他の一つは若し此處に出席せる代表者の一部が労働政黨の結黨を欲求するならば、よろしく此大會と別個に之を爲すべしとする一部の労働組合運動者の反對であつた。

併し乍ら是等の反對は少數であつて、採決の結果五票對六十票を以て、遂に動議は成立し、『全國労働組合』は純然たる産業上の團體たるやうに會則を修正し、地方労働組合 (local labour union) の構成する州労働組合 (state labour union) を組織の基本として規定したのであるが、一方労働組合運動者の意嚮を迎へる爲に全國州地方同業労働組合 (trade unions, national, state and local) が代表者を派遣することを許容した。而して其財源は州労働組合 (state labour union) に對する組合員一名に付き毎年十セントの賦課金を以てするのであつた。斯の如き組織は州の區劃が經濟單位にあらざるを以て經濟上の組織にあらざるのみならず、精々全國労働政黨に

よつて施行せらるべき法案の討議をなす團體たるに止るであらう。加之、『全國労働組合』の實際政治に参加する決議によつて、黑人團體の参加を喪失することとなつた。それは黑人なるが故に會議及び工場から除外せられるから共和政黨に賛成し、白人労働運動からも袂別することを宣言したからである。

一八七〇年の大會に於ては黑人の問題の外に今一つの人種問題が論じられた。それは支那人排斥運動で、地方問題としては既に一八六九年以來發生したる問題であつたが、一八七〇年六月ストライキやぶりとしてカリフォルニア州から支那苦力がマサチューセッツ州に出現したので、支那人排斥は愈々全國問題となつたのである。(Commons, History of Labour, pp. 144-146 Commons, Documentary History, IX, p. 256; Ware, p. 10)

カリフォルニア州に於ては八時間労働運動と同時に支那人排斥の議論が起つたのである。南北戦争による好況は賃銀増額の運動を惹起したが、戦争が終熄し、兵士が産業に復歸するに及んで八時間労働を要求する議論が喧ましくなつた。然るに東部諸州に於けると相異しカリフォルニア州に於ては戦争景氣に踵を接

して産業不況が襲来しなかつたから、ストライキによつて八時間労働の要求を實現せんと計畫し、一八六七年には建築業の大部分に於て其目的を達成し、各種の職業に八時間労働聯盟が續々設立せられ、サンフランシスコに於ては、八時間労働制度が法律によつて施行せられたものでは無いが、何れの土地に於けるよりも盛に行はれてゐた。而して一八六七年三月二十九日サンフランシスコに於ける各種團體の代表者百四十名より成る労働者大會は労働者留置權法、八時間労働法、苦力労働の抑壓に關する要求を列擧し、是等の法案に賛成する者を指名する爲に第一次の州選舉戦に参加し、一八六八年に奇效を博して、八時間労働法と労働者留置權法を通過せしむることが出来、同年設立せられたる『職工州參事會』(Mechanics' State Council)の會長エー・エム・ウィン(A. M. Winn)は翌年ワシントンに赴いて數ヶ月滞在し、總ての官公設工場に八時間労働を施行すべき法律の通過を圖つたが、遂に其目的を達成しなかつた。

カリフォルニア州に於ては金貨が通用してゐたから一八六七年及び六八年に東部諸州に於て盛であつた激甚なる不況の經驗を持たなかつたのであるが、一八六九年大陸横斷鐵道の開通によつて、多數の支那人及び白人が失業し、東部の低廉なる工業品が輸送せられて地方的不況を齎し、東部の労働者が多數流入した。而して今や五萬六千に達する支那人は白人の失業及び窮迫の重要原因であると看做さるるに至つた。カリフォルニア州の支那人問題に對する態度は一八六九年の『全國労働組合』の會議にも反映した。併し乍らウィンは此問題を十分に論述する機會を與へられず、委員附託の儘で終つた。而して此排斥政策に同情を有するものは『セント・クリスピン騎士團』が西部沿岸以外に於ける殆んど唯一の労働組合であつた。『セント・クリスピン』は貸銀争議の際にマサチューセツ州の一製靴業者がカリフォルニア州から支那人七十五名を輸入してストライキ職工の地位を與へたる事件に遭遇したことがある。

然るに一八七〇年のシンシナティに於ける大會に於てはツレベリックが會長として支那の自由移民には反對しないが、契約移民には反對する旨を演説し、委員附託となり、其報告書には支那人の輸入を許容する兩國間の條約の廢棄を要求することゝ述べられ、本會議の討論に於ても之に對して多くの反對はなかつた。然

かも支那人排斥はロス・アンゼルス其他に於ける暴動迫害となつたこともあり、遂に一八八二年聯邦法によつて目的を貫徹する迄、カリフォルニア州は十數年に亘つて排斥運動に専心したのであつた。(Commons, History of Labour, pp. 146-151, Commons, Documentary History, IX, pp. 84-88; A. M. Schlesinger, Political and Social History of the United States, p. 338; Carlton, Organized Labour, p. 182; Binba, p. 159)

尙ほ一八七〇年に於ては全國労働運動の四圍の事情に急激なる變化が發生した。乃ち一八六八年二月の法律を以て紙幣のそれ以上の收縮を禁止したる後、漸次産業は頽勢を挽回し、労働組合の活動が成功する豫想が生じ、加之協同事業の失敗は、労働組合の躍進的發展を實現するに至つた。而して其全盛時代は一八七二年春に到達せられ、同年三月ニューヨーク市に於ける主として建築業に關係せる各種の労働者大凡十萬と註せられる多數が、三ヶ月に亘るストライキを以て、八時間労働制度施行の目的を貫徹することが出来た。

斯の如くして經濟運動たる労働組合運動が前面に進出し、政治運動たる綠裏紙幣運動が裏面に退却するに及んで、全國労働組合(National trade union)は『全國労働組合』(National Labour Union)から疎隔して行つた。此事は指導者の交替に最もよく描出されてゐる。乃ち經濟上の組合運動者であつて同時に社會改革家であつたシルビスの歿後、ツレベリック、ヒンチクリフ、カメロンの如き従來の指導者は主として政論者となり、桶工組合のフォーラン(Foran)鑄物工組合のサッフィン、鑛夫組合のシニーの如き人物が其地位を繼承した。是等の者は時代精神と妥協する爲に協同運動及び綠裏紙幣運動に對する信頼を有することを告白してゐるが、本來の面目に於ては労働組合運動者であつた。斯の如き疎隔は、『全國労働組合』が遂に政治的進化の論理上の歸結に到達し、一個の全國労働政黨となるに及んで一層甚しくなつた。而して一八七一年に於ける『全國労働組合』(National Labour Union)の出席者中には一名の全國労働組合(National trade union)の代表者も見出すことが出来ない。唯茲に唯一の例外を形成するのは『セント・クリスピン騎士團』であつて、既に述べたるが如く其指導者としてマクラフリン及びカンニングスを有せる該組合は、其崩壊するまで労働改革政黨として終始一貫したのであつた。(Commons, History of Labour, pp. 151-153)

一八七〇年に於ける労働會議并に之に關聯する諸問題は以上の如くであるが、其後に於ける『全国労働組合』の歴史は餘り多く論述する必要を見ない。其會議には少數の代表者が顔を出すに過ぎず、眞の労働代表は脱退した。而して知識階級又は半知識階級が參加したが、それは却つて此團體の面目を失墜せしめる結果となつた。遮莫、彼等は一八七一年一月ワシントンに政黨組織委員會を開催して十月オハイオ州コロンブスに於て大統領及び副大統領の候補者指名の爲に大會を開催することに決定した。然るに之に先つて一八七一年の定期大會が八月十九日セントルイスに開催せられ、其處で『全国労働組合』は三重組織を採用し、産業上の大會と政治上の大會とを有すべき提案を採擇し、尙ほ來るべき十月の特別指名大會を定期大會と改め開催期日一八七二年二月二十一日に延期することにした。而して同日のコロンブスに於ける大會は判事デビッド・デビス (Judge David Davis) を大統領候補者、ニュー・ジャーシー州知事ジェー・パークー (J. Parker) を副大統領候補者に指名したが、デビス判事が之を辭退したので、時機を失し、爾後實質上『全国労働組合』の終末を告げるに至つたのである。而して該組合の『産業大會』は九月十六

日クリーブランドに開催せられたが、僅に七名の出席があつたのみに過ぎなかつた。(Commons, History of Labour, pp. 153-155; Ware, p. 10; Perlman, History of Trade Unionism in the United States, pp. 56-57)

### 三 一八六五年より一八七三年の恐慌に至る迄の

#### 産業状態概観

一八七三年以後に於けるアメリカの労働運動は分散時代に入るのであるが、其根本原因を探求する爲には姑らく昔日に遡つて一八六五年以來の産業并に經濟状態を論述する必要がある。既に南北戦争の時代より移民の西漸運動は發生してゐたのであるが、戦争によつて一時中斷せられた此運動は戦争の終焉と共に倍舊の速度を以て復活したのであつた。(南北戦争前後の經濟状態并に労働運動に就ては本誌第二十三卷第三號に發表したる拙稿『南北戦争とアメリカ労働階級』がある。) 一八六三年以後移民の數は漸次増加し、一八七三年に於ては其總數四十六萬に達した。而して是等の大多數と東部諸州に於ける舊來の住民は西部に移住し、アイオワ、カンサス、ネブラスカ、ウィスコンシン、ミネソタ諸州に於ける人口

は一八六〇年より一八七〇年の間に二倍の増加を示し、移入民の活動は更にダクタ屬領よりも西方に侵入し始めた。斯の如き人口の増加は農耕收穫に使用する器具機械の發達と相俟ちて生産額の膨脹を齎し、一八六九年に於ける全國の小麥總收穫は二億六千萬ブッシュェル、一八七〇年に於ける玉蜀黍の總收穫は一億ブッシュェルを超過した。

人口西漸の傾向を發生せしめたる主要なる動因は鐵道組織の擴張であつた。一八六五年以後八年間に三萬五千マイルの新設線路が出来して鐵道網は倍加し、然も其大部分はミシシッピ河以西の諸州及び屬領に建設せられたのであつた。而して是等の鐵道發展史に於て最も注意すべき事件は、一八六九年合同太西洋鐵道と中央太平洋鐵道との兩會社の軌道がユター州オグデンを去る西方數マイルのプロモントリーポイントに於て相聯絡せられ、始めて大陸横斷線が完成せられたる事件であつた。合同太平洋鐵道はネブラスカよりプラット河谷に沿ふ敷設工事の爲にアイルランド労働者を多數移入し、中央太平洋鐵道はシェラネバダ山脈を越へる敷設工事の爲に支那苦力を使役し、何れも其完成を急いだ。蓋し其敷

設哩程に應じて土地を讓渡せられるが爲であつた。以上兩鐵道會社の外北太平洋、セントポール、バリーントン、カンサス太平洋、ミズリー太平洋、サンタフェ、南太平洋等の諸鐵道もミシシッピ及びミズリー河を超へたる未拓地の貫通を急いだのである。

鐵道業に於ては線路の擴張があつたのみならず種々の設備の改良も實現せられた。一八六四年ジョージ・プルマン (George Pullman) は始めて寢臺車を建造し、一八六八年ジョージ・ウェステイニングハウスは空氣制動機を客車に装置することに成功した。斯の如き技術上の發明よりも重要な事は長距離輸送の業務上の改善であつた。一八六九年ペンシルベニア鐵道會社は線路の借入によつてフィラデルフィア、アールシカゴ間の直通線路を獲得し、コモドアー・バンダービルト (Commodore Vanderbilt) は、ドソン河鐵道、ニューヨーク中央鐵道、ミシガン湖岸湖南鐵道諸會社の合同に成功し、イリー鐵道會社は西部及び大西洋鐵道會社と合同してニューヨーク、シンシナティ間の貫通を企て、ボルティモア及びオハイオー鐵道會社はシンシナティ及びシカゴ間に新設又は買収によつて線路を擴張した。加之、市

内終點の聯絡、合同停車場の設置、直通貨物輸送、軌道幅員の統一等の如き改善も行はれたのである。(T. Van Metre, Economic History of the United States, pp. 390-395; Schleringer, pp. 280-282; Bimba, pp. 137-138)

製造工業に於ける發展は南部及び西部諸州の東部製品に對する需要によつて刺戟せられ、織物、肉類、其他の食料品、農具、車輛、靴、工場機械、鐵道用品の生産が非常の量額に達し、是等に關聯して特許局より特許權を下附せられたる件數は一八六七年より一八七三年に至る十三年間に於て毎年平均一萬三千件に達した。而して製造工業史に於て最も顯著なる事件はベッセマーによる製鋼方法の發見であつた。ベッセマーは鋼軌條が鐵軌條に比較して二十倍の耐久力を有することを説き、ペンシルベニア鐵道が其實験をなしたる事もあつたが、各地に製鋼工場が建設せられて生産額の増加と共に其價格を低下せしめた。乃ち一八六七年に於ける諸工場の鋼生産額は殆んど二萬トンに達し、鋼軌條の生産額は二千三百トンに達した。鋼軌條の價格は一トン百六十六ドルで鐵軌條の二倍以上の價格であつたが、需要の急速なる増加より生産費の遞下となり、一八七一年には遂に一トン百〇

二ドルに低落した。

鐵及び鋼業の發展并に一般製造業と運輸業との發達が、鑛業生産の増加に反響することは當然であつた。一八七三年に於ける石炭採掘總量は五億一千万トンで、一八六〇年に比して殆んど四倍の激増を示してゐる。鐵業と密接なる骸炭の生産事業が燃料供給として盛大に赴いた一方に於て、ペンシルベニアの油田は一八七〇年に至つて二億ガロン以上の石油を産出し、家内の主要燈料を供給した。加之、間もなく石油は合衆國の輸出品中に於ても重要な地位を占むることになつた。

南北戦争直後に於ける數年間、南部諸州は經濟上并に政治上に於て悲境に沈淪し、殊に奴隸労働廢止の爲に延ては土地所有制度の變更を餘儀せられ、棉花の生産額が戦争前の状態に恢復せられるのに數年を要した。米及び砂糖の生産額が同様の状態に到達するには更に數年を要したのである。然るに北部及び西部に於ける産業は不衰の股盛を來したる外觀を呈する迄に擴張せられたのであるが、不幸にして尠からざる投機を惹起さしめ、信用の過度の膨脹により、慘憺たる恐慌を

誘導することとなつた。投機的活動は生産能力に對する過度の信頼に因るのであつて、農民は土地を抵當として設備及び改良に要する資金を獲得したが、元利金の返済を爲すべき十分の収益を上げることが出来ず、工業的企業に於ても十分なる収益を得ることが能はざりし莫大の投下資本があつた。鐵道業に於ても數年を経過するにあらざれば投資の採算に合ふ輸送量を見出すことの出来ぬものが多かつた。加之、投機は専門の金融業者及び投機業者の分別無き且つ不正の慣行を含むことが多いのである。

鐵道の建設及び合併は投機的活動の絶好の舞臺であつた。既に述べたるが如く、西部に於ける鐵道線路の敷設は、聯邦政府よりの土地交付と借款とに刺戟せられて不用意に着手せられるものが多く、發起者の主要目的は線路の運用によるにあらずして、建設によりて出来るだけ多くの利益を擧ぐるにあつた。而して鐵道會社の重役が線路建設會社を組織し、鐵道會社の重役は建設會社の重役として自分に、不當になる代金の收受をなし、政府の補助金を着服するのが常套手段であつた。其最も顯著なる一例は合同太平洋鐵道會社の少數の大株主の組織せる『興業

銀行』(Credit Mobilier)と稱する建設會社であつて、同社の主腦は有力なる聯邦兩院議員に會社の株券を分配して、鐵道會社に好都合の法案を通過させようと努力し、事業界と政治界との腐敗を醸したのであつた。

鐵道業に關聯せる他の嫌忌すべき特徴は、過度の資本見積であつた。一八六九年バンダービルトがニュー・ヨーク中央鐵道會社とハドソン河鐵道會社との合同をなしたる時、總株式の額面價格に二倍する新株式を發行し、又彼がジェイ・ゴールド(Jay Gould)とイリノイ鐵道の統制を競争したる時の如きは、右鐵道の資本は三倍の過超見積が行はれた。鐵道會社の収益が高額である場合には、其株式社債は高値を維持し、容易に需要者を見出したのであるが、南北戦争當時の鐵道業の収益は異常に高額であつた處に危険が伏在してゐるのである。

『興業銀行』事件が政治界を茶毒したと同様に、グールド及びジェームズ・フィスク(James Fisk)を主魁とする投機業者一派の一八六九年の金塊買占は、事業界に於ける最も非難の多かつた事件である。當時に於ては未だ紙幣が割引せられて流通し、私營事業に於て金貨の使用せられるのは國際通商勘定の決済のみであつた。



而して政府は國債の元利金を金貨を以て支拂ふと共に輸入税の納付は金貨によるべきことを要求し、尙ほ大藏省は個人貿易業者と同様にニューヨークの金地市場に於て賣買をなして居た。其處でゴールドは大藏省が暫時金地市場と關係を斷つならば、商業上の目的に利用せられる金の供給を獨占し、外國の債務を決済する爲に金を必要とする者に對して其價格を騰貴せしめ、莫大の利益を獲得することが出来るとの考を懷いて、極力運動を續けて機會の到來を待つてゐた。然るに九月初大統領グラントは大藏省をして金地賣買を制限すべきことを命令したので、クルド、フィスク等は取引所に提供せられる金地を總て買占めた。其處で相場は漸次高騰して九月二十四日には其頂點百六十二に達し、輸入業者及び賣手投機業者の多數が倒産し、ウォール街の恐慌となつた。然るに之に對して大藏省は四百萬ドルの賣玉を出したのとゴールドの提供とによつて、相場は忽ち百三十三に下落し、之が爲に買煽つた多數の投機業者は倒産し、フィスクは殆んど總ての契約を任意に破棄して破産を免れたのである。

過渡の信用膨脹による危険なる現象は、物價が斷へず下落したことである。而

して其主要なる原因は各種生産業の復活であつた。戦争の爲に正常の業務を去つた多數の人々が農工業に復歸し、労働を節約し得る機械の使用が増加したる爲に、一人當の生産額が著しく増加し、貨物の供給を潤澤ならしめたに因るのである。併し乍ら物價の下落に相應する賃銀率の低落は起らなかつた。後者の變動は常に前者の變動に後れるのが常である。事實に於て、物價が下落の傾向を示したる後に於ても賃銀は幾分の騰貴をなし、一八六七年に於ける物價と賃銀との關係は、一八六〇年に於ける其關係と同様であつた。加之其後物價は下落し續けたが賃銀は一八七三年に至るまで前述一八六七年度の水準を維持した。而して此事實は多數の産業に於て投下資本の収益率が低下したことを意味するのである。遮莫、一方に於て物價は下落しつつあるに賃銀の安定せる原因は、労働者の團結が鞏固となり、西部に於ける無料の土地が潤澤であり、傭主間に於ける競争の激甚であることに歸せられる。無料の土地が労働の供給を制限するに影響を有すること  
は論ずる迄も無し。(Clark, History of Manufactures in the United States, Vol. II, pp. 141-144  
對照)

恐慌襲來に關する最も危険なる兆候は、一八六七年以後鐵道會社の収益が減少したることであつた。而して斯の如き減少を惹起したる一部の原因は重役の不正行爲にあるが、主要なる原因は競争會社の運賃料率引下にある。一八六九年ペンシルベニア鐵道及びニューヨーク中央鐵道はシカゴ直通線路を開通し、ポルティモア、リノ、オハイオ、鐵道及びイリノイ鐵道も又シカゴに侵入した。シカゴは農産物及び穀物其他の食料品の集散地であつて各鐵道會社が蝸集競争し、家畜及び石油も亦彼等の競争的であつた。而して如何に鐵道の競争が激甚であつたかは、一八六九年二月初にニューヨークとシカゴとの間に於ける一級貨物一ポンドの運賃は一ドル八十八セントであつたが、同月末には四十セントに低落し、次年に於ても五十セントを超過することは稀であつたことによつて、推察出来るであらう。而して東部に於ける競争は西部の鐵道によつて倍加せられたのである。

然も斯の如き競争の爲に總ての鐵道會社が蒙りたる損失は、競争線路の存在せざる都市又は地方に於ける不公正にして過重なる差別を設けたる運賃料率の増加によりて、一部の補償を圖つたのであつて、西部諸州の農民は此犠牲に供せられ、鐵道會社に對する怨嗟の聲を斷たなかつた。蓋し穀物の收穫増加せるによつて其價格の低落を惹起し、農民の所得を減少したると共に、僅に得たる利益を鐵道會社の爲に掠奪せられる有様であつたからである。(Schlesinger, pp. 281-284; Van Metre, pp. 407-408)

併し乍ら農民は鐵道會社の斯の如き不公正なる慣行に對して自家防衛の手段を講じ、一八六七七年『農業保護者』(Patrons of Husbandry)として知らるる全國農民組合を組織し、田園生活の改善を圖つたのである。地方、州又は全國に於ける此團體は『穀倉』(Granges)と稱せられてゐるが、西部及び中部諸州全土に亘つて非常に多數の穀倉が設置せられた。而して其主要なる事業は、組合員間に於ける協同販賣制度の鼓吹であつたが、鐵道の濫用を匡正することは決して容易の事業では無かつたのである。(Schlesinger, p. 287; Van Metre, p. 408)

經濟界の缺陷を構成する他の要素は外國品の輸入超過である。國內に於ける投機と鉅富の幻想とによつて奢侈の氣風を馴致し、一八七六年以後五年間に於ける輸入超過は二億三千万ドル以上に達した。而して此莫大なる負債の一部分は

アメリカに於ける鐵道及び工業に關する有價證券應募によつて決濟せられたが、其價格が下落し始めると共に、外國の株主及び社債所有者は漸次之を手離すに至つたのである。

一八七三年信用膨脹は爆發して財界の混亂は其極に達した。一八七二年の輸入超過は一億ドル以上に上り、正貨に對する必要は内國株式取引所に於ける有價證券の賣に反映し、鐵道及び諸興業の株式及び社債を抵當として投機業者に資金を融通せる銀行は、抵當の増加を請求し始めた。斯の如くして金融の中心に不安の氣運が瀰り、個人は正貨及び通貨を貯藏し始め、貸付の利子歩合は引上げられた。而して恐慌の烽火は九月十八日フィラデルフィアに於ける金融業者シェイクック會社 (Jay Cook and Company) の倒産に始まつた。此會社は北太平洋鐵道會社の社債に多額の投資をなしてゐたのであるが、同鐵道が不急の工事を敢行したので、社債の利子支拂を爲すに足る収益をも擧げることが出来なくなり、延てはクック會社の倒産を惹起したのである。併し乍ら之と同様の事情は到る處に伏在して居たので、恐慌は翌九月十九日にはウォール街を一掃するに至つた。主として資

本見積の過大であつた鐵道會社の有價證券より資産の成立せるフィスク及びバッチ其他數個の仲買人及び銀行業者が閉店し、諸銀行に對する取付が起り、ニューヨークの國法銀行のみが其資産を共同計算にして漸く活路を見出した。株式取引所は十日間立會を停止した。大藏省は公債の買入によつて必要なる通貨を提供し、預金者の請求に強制せられたる銀行は借款を起し、斯の如くして債權債務の清算が全國に於て開始せられた。物價は下落し債務者は債務を支辨することが出来なかつた。而して、企業家は相次で破産し、僅々一ヶ年内に其數五千以上、損失額殆んど二億五千萬ドルを算した。生産業も破壊せられ、工場は閉鎖せられ、多數の労働者は失業し、抵當は受戻權を阻止せられ、農民は住居を失ひ、鐵道輸送は涸渇して數個の會社は管財人の手に渡つた。斯くして一八七三年の恐慌は次の五年間に亘つて尙ほ癒なかつたのであるが、此事情は當時労働運動にも影響したること勿論であつた。(Clark, Vol. II, pp. 154-157; Schlesinger, pp. 285-286; Van Metre, pp. 409-411)

(完)

(昭和四年九月十八日稿)